

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年  
10月 13日 (木) (17:00~17:40)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 橋本・望月・平井・前田・水戸・山見・山本・村上・有賀・桑嶋・吉田・溝本・日比・中村・仲岡・辻・喜多

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	15人	2人	0人	0人	17人

前回の改善計画  
新規ご利用者の家族へのケアも重要視し、情報共有してゆく。  
緊急の受け入れ開始時、紙の資料が間に合わない時には、わかっている情報だけでも共有していく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
早目の情報提供により書面と口頭の両方から情報を共有し、本人やご家族最優先で受け入れを行うことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	13	4	0	0	17
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	12	4	1	0	17
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	15	2	0	0	17
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	14	3	0	0	17

できている点  
複数の新規利用者の開始が重なっても、それぞれの情報に目を通しながらスタッフ間の情報交換やアドバイスを生かし、スムーズに対応できていた。スタッフ間の連携がうまく取れていると、ほぼ全員が感じている。

できていない点  
業務多忙により、利用者とのかかわりが少ないと感じているスタッフや、情報シートの内容をゆっくり読み込む時間が少なく感じている。又、薬剤情報は、家族も本人も把握できていないことが多く、情報と持参薬の内容が違うときもある。そのようなときは、家族や入院先に連絡をとり確認し、情報を更新している。

次回までの具体的な改善計画  
スタッフ全員が業務優先にならないよう、代表のスタッフが利用者とのかかわりを深めているが、スタッフが平等に、利用者との関わる時間を持てるよう日常の業務の分散を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 10月 13日 (木) (17:00~17:40)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 橋本・望月・平井・前田・水戸・山見・山本・村上・有賀・桑嶋・吉田・溝本・日比・中村・仲岡・辻・喜多

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	4人	1人	17人

前回の改善計画	毎月のミーティングの際、7名ずつ短期目標を読み上げて目標を再確認し、目標に沿った支援につなげてゆく (7名ずつで年に3回再確認できる計算になるため)。
前回の改善計画に対する取組み結果	更新月や変化のあった時には必ず話し合い、短期目標を読み上げて支援内容の確認、情報共有を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	10	7	0	0	17
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	10	7	0	0	17
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	10	7	0	0	17
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	13	3	1	0	17

できている点	リハビリや家事活動・作業活動・コミュニケーション等各ご利用者のレベルやケアプランに合わせ、各スタッフが意識して関わることができている。日々の申し送り・毎月のミーティングでご利用者個々の振り返りや本人の希望について話し合い、対応に努めることができている。
--------	--

できていない点	毎月7人の読み上げ確認はできなかったが、必要な利用者のケアに関して少なくとも3人は短期目標の読み上げと情報共有を行った。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	毎月のミーティングの際、変化のあるときなどの必要な時に、短期目標を読み上げて目標を再確認し、目標に沿った支援につなげてゆく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年  
10月 13日 (木) (17:00~17:40)

3. 日常生活の支援

メンバー 橋本・望月・平井・前田・水戸・山見・山本・村上・有賀・桑嶋・吉田・溝本・日比・中村・仲岡・辻・喜多

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	13人	2人	2人	0人	17人

<p>前回の改善計画</p> <p>新規ご利用者の利用開始時に「その人を知る10のこと」の用紙を個人ファイルの中に準備し、利用開始と同時に情報収集に努めてゆく。</p>
<p>前回の改善計画に対する取組み結果</p> <p>各々がサービス提供時に知りえた情報を共有するように心がけ、情報を収集できている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	4	9	3	1	17
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	13	4	0	0	17
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	15	2	0	0	17
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	16	1	0	0	17
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	16	1	0	0	17

<p>できている点</p> <p>日々の申し送りにより利用者や家族の状況や思いを共有し、細やかな支援を実現している。その日のご利用者の調子に合わせ臨機応変に対応し、サービス提供日以外の生活状況なども把握しようと努め体調の変化をいち早く察知している。 また、ミーティングではスタッフが気づきを発言し、それについて話し合うことでご利用者への理解を深めている。</p>
---

<p>できていない点</p> <p>「その人知る10のこと」ご利用者全員の「10項目」を全て把握することは難しいと感じているスタッフは多い。 新規ご利用者の利用開始が重なると、情報が遅れることもあるが、専用の用紙を活用していることで、空白があると早く情報を収集しスタッフ間で共有しようと行動に移せることが良い。</p>
---

<p>次回までの具体的な改善計画 (200字以内)</p> <p>その人を知る10のことについては、聞き取り後の記入用紙を継続して使用し、知りえた情報に目を通すようにする。</p>
--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年  
10月 13日 (木) (17:00~17:40)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 橋本・望月・平井・前田・水戸・山見・山本・村上・有賀・桑嶋・吉田・溝本・日比・中村・仲岡・辻・喜多

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	15人	2人	0人	0人	17人

前回の改善計画  
引き続きコロナ禍ではあるが、地域と関われる情報を集め、感染予防に配慮しつつ可能な範囲で地域と関わる取り組みを実現してゆく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
近隣の保育園とは駐車場での作品の交換を敬老の日と七夕の日に行い、高齢者クラブや地域のボランティアチームは、作品展への出店参加や園芸交流、野菜販売の定期的な交流があり、地域の防災士とも顔なじみの関係で、避難訓練やAED講習など、自然な交流が定着している。今年度は、けやきの郷発信で、種から育てた野菜や花の苗を地域の人にお配りし、新たな取り組みを行うことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	15	2	0	0	17
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	15	2	0	0	17
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	11	6	0	0	17
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	13	3	1	0	17

できている点  
友人・親類の訪問・通院に合わせ臨機応変にサービス変更を行うことができている。ご本人だけでなく介護をされているご家族に寄り添い、在宅介護が続けられるようサービスの追加をその都度配慮・提案できている。離れたご家族への状況報告や相談などをメールで細かく行い、老々世帯や認知症のある独居高齢者の暮らしをサポートしている。

できていない点  
遠方から転居されてきた方の場合、生活が変わり地域と新しく関わりを持つことは難しいが、ご家族とコミュニケーションをとって情報収集し新生活に馴染めるような支援を心掛けている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
特になし

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年  
10月 13日 (木) (17:00~17:40)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 橋本・望月・平井・前田・水戸・山見・山本・村上・有賀・桑嶋・吉田・溝本・日比・中村・仲岡・辻・喜多

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	15人	1人	1人	0人	17人

前回の改善計画  
直接接する機会の少ないご家族へは、送迎時会えた時には対話に努めコミュニケーションを深めていく。保険外の要望に応えられるように、社会資源の情報を把握し、必要と感じたご利用者に適時紹介できるよう努める。

前回の改善計画に対する取組み結果  
コロナ禍で家族参加の行事がなくなった分、家族とのコミュニケーションを深める努力として、スタッフ全員が対話に努めた。社会資源の情報は、各々が収集した内容を「社会資源ファイル」へ綴じ、勉強会や催しなどの内容は「社会資源情報ボード」に掲示し、情報共有することができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	14	3	0	0	17
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	17	0	0	0	17
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	16	1	0	0	17
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	16	1	0	0	17

できている点  
本人や家族の状況に応じて、追加や変更等、可能な限り対応できている。対応が難しい場合は代替案を用意し対応し、小規模多機能の特性を活かした、『通い』『訪問』『宿泊』を組み合わせた個別支援ができている。接遇コンシェルジュの活動を継続し、評価や提案を受け、惰性で仕事をしない緊張感の持続に努めている。

できていない点  
利用者の細かい変化の気づきを常に発信し、情報共有を怠らないようにしている。その細かい気づきの対応が目まぐるしく変わるときは、スタッフ間でもれてしまうときがある。

次回までの具体的な改善計画  
「社会資源ファイル」「社会資源ボード」の活用を継続し、地域の情報を収集・共有していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年  
10月 13日 (木) (17:00~17:40)

6. 連携・協働

メンバー 橋本・望月・平井・前田・水戸・山見・山本・村上・有賀・桑嶋・吉田・溝本・日比・中村・仲岡・辻・喜多

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	16人	1人	0人	0人	17人

前回の改善計画  
引き続き、可能な範囲で地域との関わりを模索してゆく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
この地域に住む以前のご利用者の家族の方とのつながりも途切れていない。他にも利用終了された方のそのご家族からの相談や近況報告などやりとりできる関係性を続けられている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	17	0	0	0	17
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	16	1	0	0	17
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	16	1	0	0	17
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	17	0	0	0	17

できている点  
地域交流に関しては、時期が来ると地域の人が出向いて打ち合わせをして下さる時もあるほど定着している。  
地域の方からの物品の支援や防災訓練を行い地域ぐるみの見守り体制を整え、地域に根付く事業所として認知して頂く努力を続けている。  
スタッフの入れ替わりがなく定着していることで、地域の人にスタッフを覚えてもらえており、昔の利用者家族からの連絡や来所にも途切れなく対応できている。

できていない点  
以前のように、地域でのふれあいサロンや認知症カフェなどの催しに、利用者と参加することはできていない。

次回までの具体的な改善計画  
得意なし

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 10月 13日 (木) (17:00~17:40)

7. 運営

メンバー 橋本・望月・平井・前田・水戸・山見・山本・村上・有賀・桑嶋・吉田・溝本・日比・中村・仲岡・辻・喜多

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10人	4人	2人	1人	17人

**前回の改善計画**  
 家族に閲覧するアルバムの内容を工夫し見やすさを心掛け、身近に感じて頂けるよう努める。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 写真の取り扱いを個人情報に配慮すると閲覧配布が難しい。利用終了者には CDROM に移し手渡すようにした。インスタグラムの開設により日々の活動の様子を、タイムリーにみてもらえるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	10	7	0	0	17
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	16	1	0	0	17
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	14	2	1	0	17
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	15	2	0	0	17

**できている点**  
 ミーティングや申し送り等、職員が気付きや意見を言える環境があり、出た意見は小さなものでも共有し、より良い事業所にしようと取り組んでいる。ご家族・地域の方等から意見を頂いた際は連絡ノート・申し送りで共有、改善可能なことはすぐ反映している。

**できていない点**  
 写真 NG の方の活動の様子を写真以外の方法で伝える為、送迎時に口頭で説明をすることに努めているが、普段あまり会う事のできない家族へ伝えられていないことが多い。

**次回までの具体的な改善計画**  
 SNS を使い、けやきの郷での活動内容やスタッフのバックヤード的な活動内容を発信していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年  
10月 13日 (木) (17:00~17:40)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 橋本・望月・平井・前田・水戸・山見・山本・村上・有賀・桑嶋・吉田・溝本・日比・中村・仲岡・辻・喜多

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	12人	5人	0人	0人	17人

前回の改善計画	掲示板に地域との書面のやりとりを掲示する。全スタッフで様々な情報の共有に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	事業所内の掲示板を活用し、情報共有ができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	16	1	0	0	17
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	13	4	0	0	17
③	地域連絡会に参加していますか	16	1	0	0	17
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	17	0	0	0	17

できている点	事業所内研修を毎月実施している。その時の現場のテーマに合った内容で研修を行い、ご利用者や介護知識への理解を深めている。 今年度も引き続き、職員有志で認知症ケア専門士に挑戦し新たに2名が合格した。事業所内で合計6名の職員が認知症ケア専門士を取得している。 ヒヤリハットを多く出せるよう、記述方法の簡易化を図る工夫をした。今年に入って毎月30件以上のヒヤリハットが出ており、危険予測・事故防止に努めることができています。事故報告の対策は、翌月に対策を振り返り評価している。
--------	--

できていない点	地域の研修など人が集まる研修は、参加を控えているが研修内容によっては(リモート講義)参加している。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	一年分の事故報告・ヒヤリハットを振り返り同じ事故を起こさないように努める。
---------------	---------------------------------------



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 10月 13日 (木) (17:00~17:40)

9. 人権・プライバシー

メンバー 橋本・望月・平井・前田・水戸・山見・山本・村上・有賀・桑嶋・吉田・溝本・日比・中村・仲岡・辻・喜多

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	12人	5人	0人	0人	17人

前回の改善計画  
 成年後見制度は該当者がいないと意識が薄れがちになる。毎年、他の研修と一緒に行っていたが成年後見制度についての研修を設け理解を深める。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 毎月の勉強の内容で毎年学びを深めている。必要な方が来られた時には、いつでも使うことができるように知識を持ち準備できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	16	1	0	0	17
②	虐待は行われていない	17	0	0	0	
③	プライバシーが守られている	14	3	0	0	17
④	必要な方に成年後見制度を活用している	14	0	0	3	17
⑤	適正な個人情報の管理ができている	14	3	0	0	17

できている点  
 毎月研修で知識の再確認・再認識を行い、介護従事者として個人の尊厳を守り仕事にあたっている。ご利用者によっては危険を伴うような行動をされる方もいるが、身体拘束しないが良いように、皆で意見を出し合い工夫して介護できている。

できていない点  
 事業所を利用されている方の名前を書いたものを持ち歩かないように徹底している。送迎時に家族からの伝言を承ることがあるが、その際にリングノートに記載するように取り決めをしているが、メモに書いてしまい車内に置いてきてしまうことがある。万が一メモを落としてしまうと、個人情報流出になることを受け止め注意喚起をしている。

次回までの具体的な改善計画  
 ご利用者のお名前を書いたメモの扱いに注意する。リングノート以外には書かない。書いたものを置き忘れない。どうしても書くときは、頭文字1字だけの記載にてメモを取る。